

(3) - 3) C 事業所事例

特徴：複合した形で、地域住民とのリスクコミュニケーションを実践している例。
定期的な環境・安全等の説明の場は周辺自治会の会合を利用して実施しているが、新規事業に伴う工事等の説明会は最も影響を受ける隣接自治会との臨時会合という形で行っている。即ち、事業所は1年スパンでの活動総括として、周辺9自治会へ別々の定例会として取り扱う場合と、工事等で影響を受け易い隣接自治会との協議を使い分けている。更に、周辺9自治会の代表とは事業所の総務担当が月1回弱で事業所の事業活動における意見等をまめに伺う活動をして地元の声を聴き、年1回の自治会会合を補足する形をとっている。日常のコミュニケーションの特徴では、地域行事に事業所の環境安全担当者が積極的に参加していることである。このことは不測の環境クレーム等対処でも地元との接点を作っておくことに役に立つ。また、事業所の環境ボランティア活動も盛んである。

従業員規模 : 500人以上。

周囲の状況(立地): 準工業地帯で隣接住居有り。第一次産業有り。

操業経過年数 : 25年超。歴史のある事業所。

PRTR 取扱最大量の物質: 年間1,000トンを超すPRTR対象の取扱物質有り。

環境・安全等のマネジメントシステムの有無: 有り。

- 1 対話開始時期: 10年超

- 2 きっかけ: 自主的に

- 3 名称の有無: 無し。

対話の場の位置付け : 地域住民との良好な関係と住民の声へ早期対応。

- 1 事業所側出席者 : 総務, 環境安全

- 2 地域住民側出席者: 周辺地域住民

- 3 その他出席者 : 無し。

- 1 事業所が地域住民と認識する範囲: 周辺9自治会の約1,000世帯

- 2 事業所の所在地の最小行政の範囲: 市で約100,000世帯強

実施方法: 自治会会合 事業所計画事業(は参考)

- 1 頻度: 毎年、年に1回弱 - 2 場所: 自治会公民館他

- 3 時期: 自治会行事 新規工事等 - 4 日時: 平日他(相談)

- 5 議題: 事業所活動, 環境安全の取り組み 新規事業計画事前説明

化学物質情報提供の工夫: 簡明にした資料の作成使用 (別途環境報告書)。

対話の場のメリット: 地域住民との良好な関係 事業計画の推進。

対話の場の難点 : 地域住民の参加者が略特定されてきている。

住民の声 : 身近な環境クレームや要望を住民の声として伝達が可能。

改善への課題 : 特に無し